

柔道部復活

特変あり

「勝つと思うな　思え

は負けよ——」姿三四郎を夢見て柔（やわら）の道に飛び込んだ。戦後、占領軍の指令で学校柔道が禁止された。その後、解禁され昭和二七年

に静商柔道部は復活した。顧問で師範の稻葉茂男先生はこの年に着任された。部員は約四〇名、上級生は経験者で強かつた。

私たち新入部員二〇名は白帯の初心者、先生には柔道の基本を教えて頂いた。初心者も一・二年で黒帯（初段）を取得した。三年生になり団体戦のメンバーは大津、平野の三人、坂野、石貝の五名で私は主将を務めた。団体戦での対外試合の成績はイマイチだった。



高校時代の想い出

私は、昭和27年待望の静商に入学、最初に戸惑ったのが、授業のカリキュラムの作成作業でした。商業科目は一定のルールで決められけれども、数学や社会など一般科目は、卒業までに5単位習得す

うか、私は地理に大変興味を持つようになり、平成4年定年退職後、海外旅行が楽しみになり、今までの訪問した国は45ヶ国になりました。

もちろん「点マーク」「小兵ハーフ」「なるべく」を歩

褒美のような仕事がありました。春と夏の長期の休暇が続くときには、見本の商品を携えて、学割が使えることもあって集金旅行を(出張)させてくれました。その一つの旅で、本州

子園の決勝戦には、俄に忘
援団を結成し、3年生を中
心に在校生八十余名を核に
OBや支援者で2千名に膨
れ上がった。夜行の臨時列
車を繰り出し、甲子園に駆
けつけた。もちろん学校や



ればよい

しかし、どの科目をどの学年で取れば良いのかに大変迷いました。結局、3年で社会

いてきました。「ナルヴィック」はヨーロッパ最北の鉄道駅でした。近藤先生の授業は今でも思い出します。

を一巡するのに十日余りを要した帰途に、母校・松浦と中京商・中山の投げ合つた高校野球の決勝戦を観戦できた。石炭列車の排煙で真っ黒に染まつたワイシャツのため応援席に座れず、そつと一塁側で応援しました。

生徒会の記録
成岡 武

成岡武

喜寿を迎えた今、六十年前の高校時代を語るのいささか面映ゆいが、卒業アルバムを開いてみた。何といつても一番の思い出は、昭和二十九年度全国高校野球選手権大会（夏）

最近は、剣道部同期の田松彦君が永年剣道でのスポーツ貢献で文化大臣賞を受賞した祝賀式に顔を出したり、顧問の山岸先生の墓参りに仲間と行ったり、開東五十六会で旧交を温めたり、同期古井陸志君の好んで、料理教室で楽しんだり結構忙しくしています。

の準優勝であろう。在校生の誰もが思う共通の喜びであり、誇りであり心が弾んだものだ。とりわけ生徒会の一員のメンバーにおいて裏方の一段端を担つた思いがあり一体感に浸つたものである。

当時は、1年生の時の春の選抜優勝に続く快挙で、野球部の黄金期で、学校のシンボルとして学校全体が高揚していくたと思う。甲子園の決勝戦には、俄に応援団を結成し、3年生を中心には在校生八十余名を核にO Bや支援者で2千名に膨れ上がった。夜行の臨時列車を繰り出し、甲子園に駆けつけた。もちろん学校や

